

大河ドラマ『べらぼう』の主人公・葛屋重三郎(1750〜97)が生きた田沼時代(宝暦・天明期)〜江戸時代後期は、商人や文人の全国的な交流、出版・教育の普及、参詣の流行などを生み出し、江戸を中心に発展した町人文化が隆盛した時期です。

黒岩村(現大字黒岩)出身で、江戸で古紙回収業を営んだ鈴木金兵衛(1781〜没年不詳)は、崇敬する故郷の岩溪山長徳寺(廃寺)の五大明王(五大尊)を宣伝するため、摺物「五大尊明王開帳参詣図」を発行しました。参詣図の上半分は日本橋から黒岩村までの順路と距離を記し、下半分は五大尊を訪ねる人々の様子を描いています。これらの人物は当時絶大な人

越生浪漫 No.195

NHK大河ドラマ
「べらぼう」と越生



「五大尊明王開帳参詣図」 推定文政8年(1825) (埼玉県立歴史と民俗の博物館所蔵)

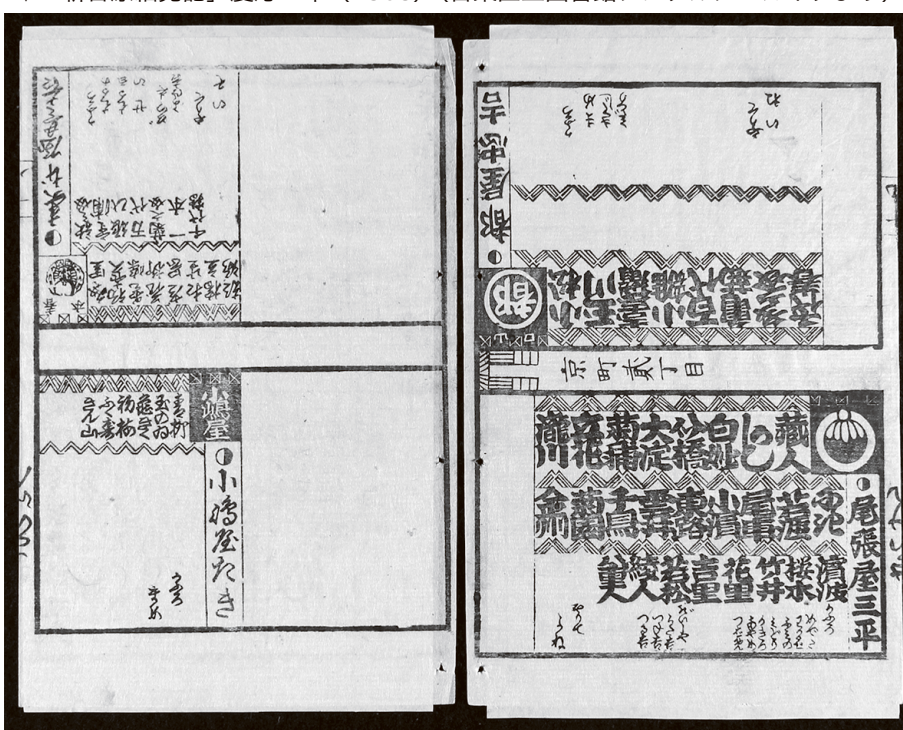
版元は江戸横山町の岩屋喜三郎、絵師は歌川国安で、刊行の際に検閲を受けた証である改印も見えます。浮世絵の検閲は松平寛政の改革から開始されました。津久根村(現大字津久根)の新井宗秀(1815〜68)は、家業を弟に譲り江戸に出て、新吉原で妓楼を経営し、尾張屋三平と名乗りました。葛屋が



▲版画には「国安画」、「横山町二丁目岩戸屋」の版元印、「極」の改印が見える。

七代目市川團十郎をはじめとする歌舞伎役者たちをモデルにしたものです。

▼「新吉原細見記」 慶応4年(1868) (台東区立図書館デジタルアーカイブより)



独占販売した吉原遊廓の案内書「吉原細見」は、嘉永元年(1848)以降は妓楼主人・玉屋山三郎が独占し、彼が発行した江戸時代最後の年である慶応4年(1868)の「新吉原細見記」には、京町二丁目に、遊女25名、禿7名、芸者3名、遣手1名を抱えた



▲尾張屋三平



梅園小学校

令和7年度の入学式では、14名の新入生を迎え、全校児童72名でスタートしました。緊張した様子の1年生でしたが、元気な声で返事ができました。キャッチフレーズは、「まなびあい ひびきあい つながりあう みんなの梅小」です。よろしくお願いいたします。



越生小学校

4月8日の入学式では、32名の新入学児童を迎え、全校児童248名で令和7年度がスタートしました。少し大きめのランドセルを背負い、緊張した様子で登校した1年生でしたが、入学式の呼名では大きな声で返事をすることができました。早く学校に慣れて、楽しく学校生活を送ってほしいです。



越生中学校

4月8日(火)に令和7年度第79回入学式並びに前期始業式が行われ、74名の生徒が越生中学校の一員となりました。「授業・行事・部活動に燃える」何事にも一生懸命な先輩たちを見習って頑張りましょう!!

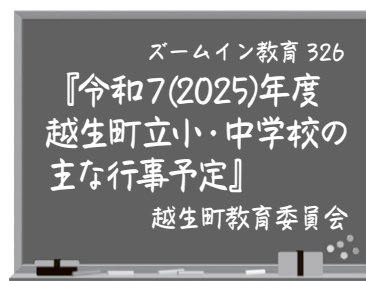


おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加するこどもたちを写真で紹介するコーナーです。

令和7(2025)年度越生町立小・中学校等の主な行事予定(抜粋)をお知らせします。

	越生小学校	梅園小学校	越生中学校	町事業関連
5月	・運動会(24日)	・運動会(24日)	・体育祭(17日)	・無名戦士の墓慰霊大祭(10日) ・こどもフェスティバル(18日)
6月				・こどもおはやし大会(1日)
7月				・越生まつり
9月	・修学旅行(25~26日)	・修学旅行(25~26日)		
10月	・前期終業式(10日) ・後期始業式(14日) ・宿泊学習(30~31日)	・前期終業式(10日) ・後期始業式(14日) ・宿泊学習(30~31日)	・前期終業式(10日) ・後期始業式(14日) ・合唱コンクール(25日)	・町民体育祭(5日)
11月	・校内音楽会(8日)	・校内音楽会(8日)	・光輝祭(8日) ・ロードレース大会(28日)	
12月	・持久走大会(6日)	・持久走大会(6日)		・黒山鎌北湖駅伝大会(7日)
1月			・修学旅行(25~27日) ・社会体験チャレンジ(25~27日)	
2月	・6年生を送る会(25日)			・ちびっ子駅伝大会(1日)
3月	・卒業式(23日) ・修了式(25日)	・6年生を送る会(3日) ・卒業式(23日) ・修了式(25日)	・3年生を送る会(10日) ・卒業式(13日) ・修了式(25日)	



※令和7年5月1日現在の予定です。変更になる場合もありますのでご了承ください。

▶詳細はQRコードから読み取りをお願いします。

